

宝石の1カラットは、豆1粒分!?

フランス語の「carat (カラット)」は宝石の重さを表す単位で、1カラット「200mg (0.2g)」と決まっています。

「大きじゃないの?」と勘違いされがちですが、重いとサイズも大きいので混同されやすいようです。

200mgなのは、古代では宝石の重さを比べる際に、穀物に例えて「豆で何粒分の重さ」などと表していたことに由来するのだそうです。その際使われていたのが古代ギリシャ語で「カラット」と呼ばれる豆で、1粒が約200mgだったそうです。

実は、頭文字が「k」で始まる英語「**karat** (カラット)」もあります。これは18金や24金など、貴金属の「金」の純度を表す単位で知られています。これも、語源は同じ豆の名前と言われています。

